



仙高の風

令和5年1月25日発行 第10号

大学入学共通テスト直前、合格祈願チョコレートにメッセージをそえて



◆冬季休業前、全校集会を行いました。 12月23日(金)、



5校時まで通常授業を行い、6・7校時に大掃除・全校集会を実施しました。また、集会に先立ち全国大会等で活躍した生徒への賞状伝達を行い、皆でその活躍を称えました。岩井誠校長は講話で、「健康あってこそです。質の高い学習や部活動を

続けるためにも健康管理をしてほしいと思います。世界はまだまだ混乱が続くでしょうが、これからますます若いみんなの、たくましく、創造的で、エネルギーにあふれる力が必要になります。仙台高校でしっかり力を付けて、「飛行機人間(『思考の整理学』より)」として社会に羽ばたいて欲しいと思います。」と話されました。今年度は本日までに155日の登校日があり、生徒達は様々な経験をしてきました。その一つ一つ振り返りながら今年の1年を締めくくりました。この



日は学年でも集会が行われ、阿部頼人2学年主任から、「自分のこれからのことに目を向けてみよう。大学で何を学びたいのか、将来どんな職に就き、生計はどう立てるのか。自分の人生なのだから真剣に考えてみよう。」と語りかけました。



◆冬休み、多くの生徒が冬期講習に参加しました。

12月24日から全学年が4日間の日程で、冬期講習に参加し互いに鍛え合いました。

1月4日からの3日間は3年生のみの集中講座で、直前に迫った入試対策講座に真剣に取り組んでいました。また、12月28日に「英語」、「数学」、「国語」の3教科で、河合塾仙台校から講師の先生方をお招きして、「冬休み特別講座スキルアップ講習会」を開催。2年生の生徒に授業を行っていただき、その授業を本校教員や他校から参加された先生方が参観しました。授業後には意見交換会など、学力向上のための授業について教員研修を行いました。



◆新年はじめの全校集会を行いました。 1月10日(火)、

全クラスに向けてオンラインによる全校集会を行いました。はじめに岩井誠校長による講話がありました。▼おはようございます。令和5年、2023年の幕が開きました。体調に変化はありませんか？冬季休業は充実していましたか？年末の全校集会で図書室で本を借りたお話を、皆さんもどうぞと話をしました。その後、随分図書室に足を運んでくれた人がいたようですね。図書室に行くという行為は、新しい世界との出会いを求めている



こと、あるいは好奇心を持っていること、そういった人が多くいたことの証ですとても嬉しいです。▼3日前に仕事関係(春の高校バレー)で上京した際、行きかえりの新幹線の中で林真理子さんの新書本『成熟スイッチ』を読みました。その中からいく

つかピックアップして紹介しますと、「背伸びなくて成長なし」「成熟とは、昨日のままの自分であるとしつもらないよということ」「ちょっとしたことでもいいから何か新しいことをして、昨日とは少し違う自分になってみる。成熟にはキリがありません。毎日新しいスイッチを入れながら、自分の変化を楽しむことができたら、なんて素敵な人生でしょう。」です。インプットは必ずしも本からでなくても構わない。新しい言葉や表現、考え方など、常に自分の中に何か新しいものを取り入れて、そしてそれを「自分の味方」につけて、前向きで楽しい一年を送って欲しいと考えています。(一部を抜粋しました。)



いて杉内浩幸進路指導部長からお話がありました。▼現時点で約170名の3年生が進路決定していますが、これから一般入試本番を迎えます。共通テストは4日後ですね。コンディションを整え是非実力を発揮してください。2

年生、1年生諸君へは、大学入試の総合型選抜と学校推薦型選抜をまとめてお話しします。「大学で何をどのように学びたいのか」、「将来どんな職業について、どう社会貢献していくのか」を明確にしていないとそれを考えるためにただ単に貴重な時間だけを失うことになりますし、学力を高める勉強の時間を減らすこととなります。また、小論文も課されます。傾向としてこの入試を選ぶ生徒が多くなっていますが、志望理由書が書けない、面接でしゃべれないということが起きてきます。よく自分の適性を考えて、分らなければ是非相談して欲しいです。これから2年生には進路ガイダンスを設定しています。1年生には学問分野別ガイダンスを設定しています。この機会に是非自分の進路について考えてみてください。▼言葉を知らないと認識できる世界が狭くなります。語彙力はとても大事です。そのためには読書が一番です。劇作家の鴻上尚史さんが成人の日に寄せて書かれた原稿に、「自分の頭で考える訓練を始めましょう。そのためには本を読んでください。さあやっとなんて大人になって自分の頭で考えていい世界に来たのです。」とありました。成人に向けたものではありませんが、皆さんが素敵な本と出会うことを願っています。(一部を抜粋しました)

◆3年生、大学入学共通テスト説明会・激励会を行いました。

1月13日、3年生は14日、15日の2日間で行われる共通テストのため午前授業でした。午後は共通テストを受験する生徒99名の集会を開き、持ち物に関することや万が一の際の連絡先等、



入念な確認を行いました。また、校長先生はじめ、進路指導部長、3学年主任より激励のメッセージがありました。恒例となっている先生方による各検査会場での応援はまだ控えなければならないため、3学年の先生方からは一言書き添えられた合格祈願チョコレートをサプライズで用意し、一人一人に渡しながらか激励しました。

◆第1学年、フェニックスゼミ発表会を開催！

1月19日、1年生は、4月から進めてきたゼミ学習(共通の探究テーマに集まった生徒同士が協働して行う学習活動)の総括である「フェニックスゼミ全体発表会」を行いました。今年度は「医療・福祉」「IT・情報」など8つのカテゴリーに分かれ、調べ学習やフィールドワークを行いながらゼミ活動を進めてきました。また、それらすべて「SDGs」と関連付けた探究学習となっており、この日は、一般社団法人 SDGsとうほくから代表理事の紅色晶子様、株式会社 フクダ・アンド・パートナーズから阿部真美様をお招きして、審査員を務めていただきました。今年の発表会は、パワーポイントでの発表を事前録画し、それを各教室で視聴する形態で行いました。生徒達は各ゼミの発表を真剣に視聴しながら評価シートにメモをしたり、学び合いの場となっただけでなく、SDGsへの関心を一層



高めていました。全ての発表後、審査員がつけた得点が集計され、順位決定をし表彰しました。審査委員長を務めた中村淳教頭は講評で次のように述べました。「皆さんが深く研修してきた成果を拝見させていただきました。テーマに沿って創意工夫をした発表で、目を見張るものがあり、甲乙つけがたい素晴らしい発表でした。▼探究の柱としているSDGsですが、気候変動、貧困、紛争、資源の枯渇など様々な問題が発生しており、私たちを含め様々な立場からこの目標を達成するための行動が求められています。これからもSDGsの視点を持って、君たちなりの方法で世の中に貢献してほしいと思います。▼仙台高校のフェニックスプランは、将来の自分づくりのためのものです。これからもしっかりと取り組んでほしいと思います。これからの皆さんの成長に期待しています。」(一部を抜粋しました。)また、SDGsとうほく紅色様からも次のような講評をいただきました。「こちらも学ぶことがたくさんありましたし、皆さんの発表はここだけではとてももったいないなと思いました。私たちは企業の方たちともSDGsについての研修や学びの場を作っていますが、是非皆さんの今日の発表を、そういったところでもみなさんからのメッセージとしてお伝えできたらと思いました。1年生でこんなにもできる生徒がいるんだなととても感動してしまいました。今後も力を蓄えて社会に役立つ人として育てていくことを期待しています。」



SDGs 特別賞
「生物・環境ゼミ」
 SDGs目標との関連性が特に深く探究されていると認められたゼミに贈られました。
 ↓ゼミ代表 渡部茅(1-1)さん

表彰：第1位「生物・環境ゼミ(44名)」・「サンゴ礁と日焼け止め」・「食品ロスについて」(担当教諭：菅原千、佐々木)第2位「医療・福祉ゼミ(41名)」・「世界の医療体制」・「看護の大切さ～貧困の問題の繋がり」・「福祉先進国から学ぶ～日本の福祉体制の課題」(担当教諭：大沼絵、熊谷)第3位「政治・社会ゼミ(31名)」・「世界の外交関係の歴史を紐解き、平和と友好への道を探そう」・「戦争はなぜおきるのか」・「国際交流の観点から自国の政治・文化を明確に理解する。」(担当教諭：池田、青柳)

◆秋季東北大会で優勝した軟式野球部が、河北スポーツマガジン Standard宮城に大きく取り上げられました!! 「仙台高校軟式野球部 劇勝の秋 東北初制覇」をページタイトルに、選手達へのインタビュー記事が取り上げられています。

2023 1-2 CONTENTS

- 004 跳躍の年に 宮城県バレーボール特集2023
- 006 古川学園高校 東北 東北高校
- 014 新大森主将チーム 利府高校 聖和学園高校 仙台商業高校 仙台育英学園高校
- 022 高校バレー選手名鑑 男女96チーム紹介
- 040 INSIST CLEAN TEAMI 宮城県選抜
- 068 2022ドラフト指名選手紹介
- 072 名偵探の探訪記 仙台商業高校バレー部から分科発表 国分秀男さん
- 078 日本少年野球連盟 ポーズリーグ 東北支部 宮城県11チーム紹介
- 082 SMCカップ第19回全国小学生タグラグビー大会 出場12チーム紹介
- 086 第10回全国高校サッカー選手権大会 宮城県大会 聖徳学園高校が初優勝の頂上!
- 088 第10回仙台地区高校サッカー大会 仙台高校が初優勝!

10年ぶりとなる東北大会。本来なら宮城県で優勝しなければ東北大会へは出場できなかったのですが、福島県が東北大会を辞退したことで一枠増となりました。「チャンスを逃さない」のが今チームの最大の強み。見事2枠に滑り込みました。「県1位を絶対に取らないといけ

劇勝の秋 東北初制覇

ない。全国大会に出られるチームにしたい！」志賀主将のコメントも書かれています。

◆第9回マナーアップ運動を実施しました。

1月13日、交通安全対策委員の生徒の皆さんが、学校近くの通学路に立ち、朝のあいさつと登下校時のマナーアップを呼びかけました。



←出発前の打ち合わせ 「元気よく皆さんにあいさつしよう」

◆2学生、ホームルーム研修旅行発表会に向けてリハーサル！

1月26日に開催予定の2学年HR研修旅行発表会に向け、研修委員の最終打合せが行われました。各クラスではプレゼンテーションのリハーサルを本番さながらに行っていました。2年生の皆さん頑張ってください。



◆教員募集案内に本校教諭が掲載されています。仙台市教育委員会が令和6年度の仙台市立学校教員の募集のために作成配布しているパンフレットに、本校の高橋拳先生が取り上げられました。

高橋拳先生

生徒が将来像を描く際に、有益な経験値を伝えていきたい。

私を英語科教諭として学習指導の他、陸上競技部の副顧問としても日々活躍中です。「生徒が将来像を描けるように、有益な経験値を伝えていきたい。」と自身の社会人経験を基に子供たち一人一人の未来と一緒に考えたいと語っています。

◆外国語科研修会で授業公開 1月24日、2年4組で行われた「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業を市内の小・中学校の先生方が参観しました。

本校英語科の青野一真教諭がこの度提案した授業は、「生徒が英語の文章を読み、内容を要約する」でした。今後も小中高連携して授業研究を進めていくことが確認されました。



仙台市青葉区国見 6-52-1
 担当:主幹教諭 板橋俊文
 Tel 022-271-4471
 Fax 022-271-1136
 URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>